

キャンプパッド100 シリーズ

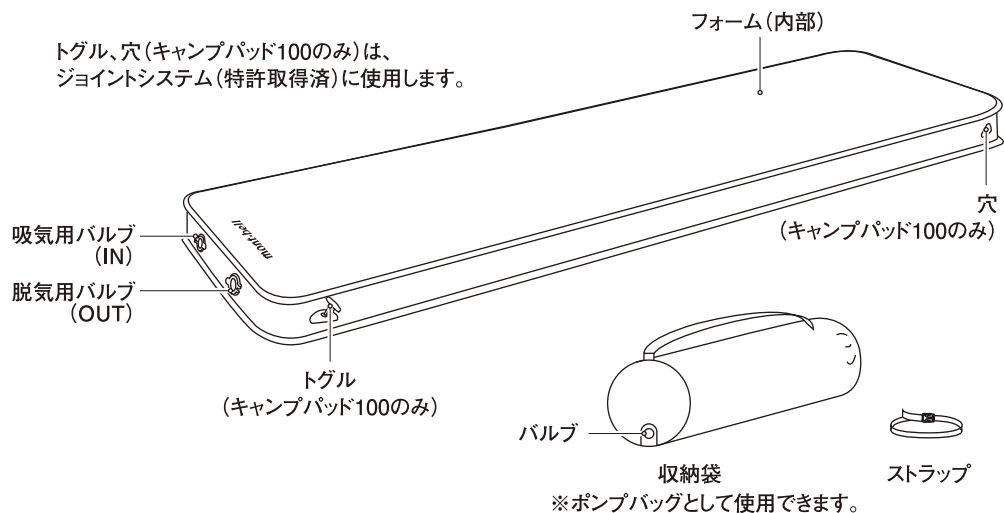
Camp Pad 100 Series

この度はお買いあげいただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書（以下「本説明書」といいます）は本製品の正しい取扱方法を説明しています。ご使用前に本説明書をよくお読みいただき、正しい使用方法をご確認ください。なお、ご不明な点等ございましたら、販売店もしくは（株）モンベル カスタマー・サービスまでお問い合わせください。本説明書は大切に保管してください。

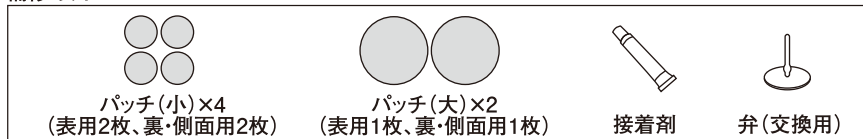
■ 特長

本製品は、アウトドアでの快眠性を重視したフォーム入りスリーピングパッドです。10cmの厚みにより、地面からの冷えや突き上げを大幅に緩和し、ベッドのような快適な寝心地を実現しています。また、収納袋がポンプバッグとして使用でき、簡単に空気を入れることができます。

■ 各部の名称 ※イラストはキャンプパッド100で説明しています。



補修キット



■ 安全上の注意 必ずお読みください

警告 場合により人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
軽傷または物的損害が発生する頻度が高いことが想定される内容です。

○本製品を絶対に浮き袋の代わりに使用しないでください。

注意 人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容です。

- 正しいお手入れ方法、保管方法を守ってください。誤ったお手入れや保管方法を行うと、本来の性能を発揮できない恐れがあります。
- 本製品の改造や分解などは絶対にしないでください。性能が損なわれ、十分に機能が発揮できない恐れがあります。
- 本製品を使用する際は、表地に直接頭部や肌があたらないようにタオルなどをかぶせて使用することをお勧めします。整髪料や頭部の皮脂などが本製品に染み込み、生地とフォームの剥離を促進する恐れがあります。
- 高圧ポンプやコンプレッサーを絶対に使用しないでください。破損の恐れがあります。
- 使用前は毎回必ず点検をしてください。老朽化が認められる場合や損傷が認められたり、疑わしい場合は直ちに本製品の使用を中止してください。本来の性能が発揮できない恐れがあります。
- 本製品の設置場所にトゲのある茂みや尖った石などがないかを常に確認してください。パンクの原因となります。
- 本製品を地面に直に置いて使用しないでください。テントの中で使用するなど、保護のために本製品の下にグラウンドシートなどを敷いてください。
- 空気を限界まで封入した状態で急激な圧力を加えないでください。内部のフォームが破損する恐れがあります。
- 本製品を火気や熱いものに近づけないでください。本体、バルブの変形や損傷の原因となります。また、使用直後の火器（コンロ、ランタンなど）が本製品に触れないよう十分にご注意ください。
- 本製品をご使用中の喫煙はお避けください。落下した灰が生地を傷める恐れがあります。
- 気温の高い日に膨らませてバルブを閉めた本製品を車内やテント内に放置することはお避けください。パンクの原因となります。
- 日焼け止め、塩素を含む薬品などが本製品に付着しないようにしてください。生地とフォームが剥離する恐れがあります。
- 本製品を長期間直射日光に晒さないでください。紫外線劣化により本製品の耐久性が損なわれる恐れがあります。
- 本製品はペットが触れることのできない場所に置いてください。ペットが噛みついたり、本製品に爪が引っ掛かったりすることで穴が開く恐れがあります。
- 使用時は身につけている金具に注意してください。就寝中にズボンのバックルなどが生地を傷める恐れがあります。
- 本製品を収納する際は、十分乾かしてから収納してください。生地の劣化やカビの原因となります。

■ 使用前の点検 使用にあたっては、毎回必ず次のことを確かめてください。異常が見られた場合は使用しないでください。

- | | |
|---------------------------------------|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 穴が開いていないか | <input type="checkbox"/> 生地が剥離していないか |
| <input type="checkbox"/> バルブが破損していないか | <input type="checkbox"/> 空気が漏れていないか |

■ 使用方法 ※イラストはキャンプパッド100で説明しています。

- 初めてご使用になる前に
本製品はフォームの復元力を利用して半自動的に吸気する機能があります。ただし、空気が抜かれた状態で出荷されているため、初めてご使用になる前に本製品を膨らませて、空気を入れた状態で一晩置き、フォームのクッション性と復元力を回復させてください。（※後述の「空気の入れ方」をご覧ください。）
また、本製品の空気を抜いた状態で長期間収納袋に入れて保管した場合も上記のように、ご使用前にクッション性と復元力を回復させてください。

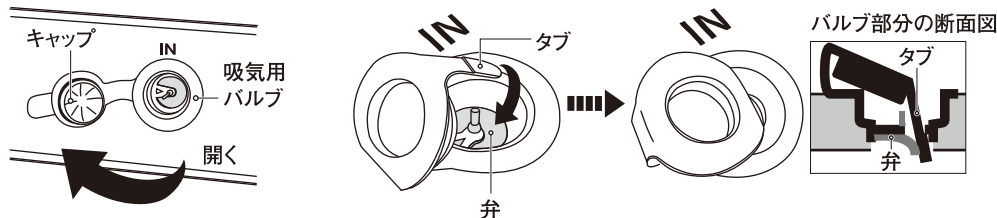
○ 空気の入れ方

本製品は、2通りの膨ませ方ができます。

- 半自動的に膨ませてから、ポンプバッグ(収納袋)を使用して、空気を入れる方法。(1、2をご覧ください。)
- 初めからポンプバッグ(収納袋)を使用して空気を入れる方法。(2をご覧ください。)

1 半自動的に空気を入れる方法

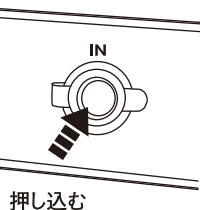
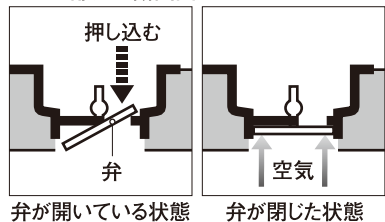
- 1 本製品を収納袋から取り出します。
- 2 吸気用バルブのキャップを開きます。
- 3 キャップのタブを内側の弁に差し入れます。吸気用バルブにすき間ができることで、フォームが自動的に吸気します。
※本製品を完全に膨ませることはできません。



- 4 吸気が止まったら、差し込んでいたキャップのタブを抜き、内側の弁が閉じていることを確認してください。さらに膨ませる場合は、ポンプバッグ(収納袋)を使用して空気を送り込みます。(後述2-2をご覧ください。)
- 5 空気を入れ終わったら、キャップを吸気用バルブにしっかり押し込み、バルブを閉じます。

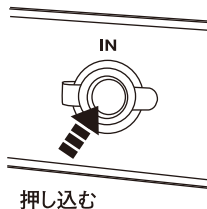
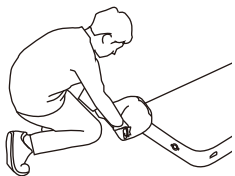
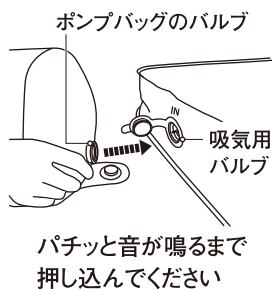
弁が開いている場合は、弁を指で本製品の内側へ押し込みます。

バルブ部分の断面図



2 ポンプバッグ(収納袋)を使用する場合

- 1 本製品を収納袋から取り出します。
- 2 吸気用バルブとポンプバッグ(収納袋)のバルブのキャップを開き、接続します。
- 3 ポンプバッグ(収納袋)に空気を溜め、開口部を握り空気が漏れないようにしっかり閉じます。
- 4 ポンプバッグ(収納袋)に体重をかけるなどして、ポンプバッグ(収納袋)内の空気を本製品へ入れます。③④を数回繰り返してください。
- 5 空気を入れ終わったら、キャップをバルブにしっかり押し込み、バルブを閉じます。

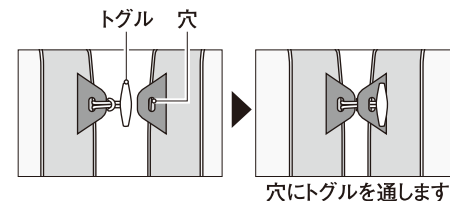


⚠ 注意

- 気温が低い時は本製品の膨らみが遅くなることがあります。その際は、広げた本製品の上にしばらく横になるなどしてフォームを温めると膨らみやすくなります。
- 空気を限界まで封入した状態で急激な圧力を加えないでください。内部のフォームが破損する恐れがあります。

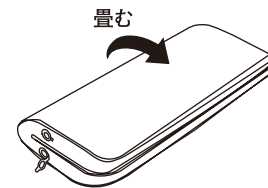
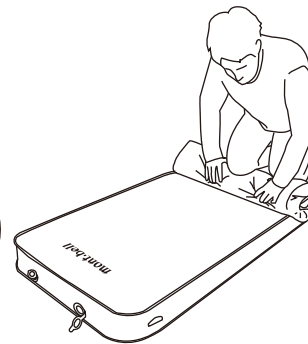
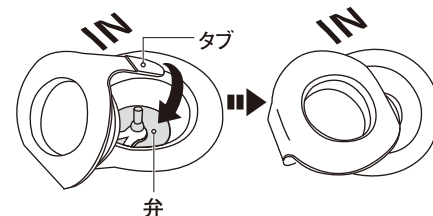
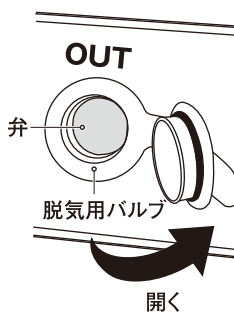
○ ジョイントシステム(特許取得済)

- トグルと穴を利用してキャンプパッド100同士を連結することができます。
※キャンプパッド100ワイドは連結に対応していません。
※キャンプパッド100以外のスリーピングパッドに対応していません。

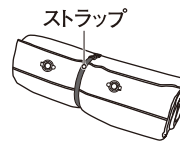


○ 収納方法

- 1 脱気用バルブのキャップを開きます。
- 2 空気を早く抜きたい場合は、吸気用バルブのキャップも開けてください。その際、P.3の「半自動的に空気を入れる方法」の③の通り、キャップのタブを弁に差し込んでください。
- 3 パッドを、バルブの無い側から巻き上げ、空気を抜きます。
- 4 端まで巻き上げ、ある程度空気が抜けたら、吸気用バルブを閉じます。
- 5 キャンプパッド100ワイドは図のように半分に畳みます。
- 6 脱気用バルブが開いた状態で、もう一度バルブが無い側から本製品を巻き、体重をかけながら空気を抜きます。



- 7 脱気用バルブのキャップを閉じ、ストラップで留めます。ポンプバッグのバルブを閉じ、本製品を収納します。



● 修理方法

本製品に穴(ピンホール)が開いた場合

付属の補修キットで補修することができます。

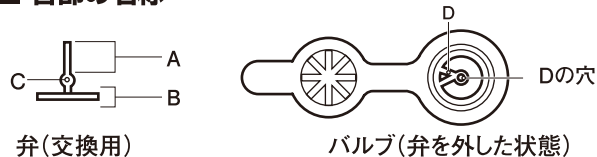
※大きな穴が開くなどした場合は、お買い求め頂いた販売店、もしくは下記の弊社カスタマーサービスへご連絡ください。

- 十分に本製品を膨らませて、空気の漏れている穴の位置を確認します。分かりにくい場合は水に浸すか石鹼水を疑わしい部分に塗って加圧してください。小さな気泡の発生する場所が穴の位置です。穴に印を付けてできるだけ本製品の空気を抜きます。
- 石鹼水を塗った場合は水でよく洗い流し、完全に乾燥させてください。濡れていたり石鹼水がついたままではパッチが本製品に接着しません。
- 本製品に開いた穴から外側に向かって同心円状に接着剤をうすく伸ばして塗り、5分間ほど乾かします。その際、必ず付属のパッチより少し大きい範囲で接着剤を塗ってください。
- パッチの裏の紙をはがして接着剤を塗った箇所には貼り合わせます。表面が平らで硬いもので暫くパッチを押さえ、浮いている箇所がないことを確認してください。
- 接着剤が完全に乾くまで空気を抜いた状態で放置します(約8時間程度)。
- パッドを膨らませ、空気の漏れがないことを確認します。

弁の交換方法

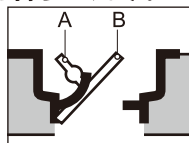
弁が傷んで空気漏れ等の不具合が生じた際は、補修キットの弁と交換してください。万一、弁が外れた場合は吸気用バルブは③、脱気用バルブは②からの手順で取り付けてください。パーツが小さいため、必要に応じてピンセットなどをご使用ください。

■ 各部の名称

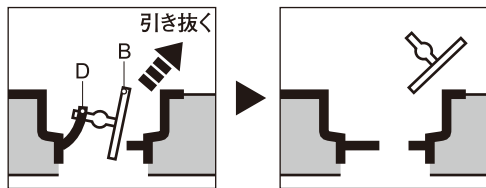


〈吸気用バルブの交換〉

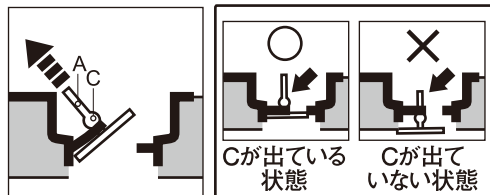
- ① 弁のAをつかんで引っ張り、Bをバルブから持ち上げます。



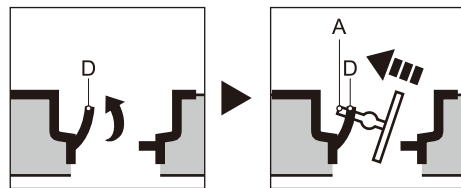
- ② 持ち上がったBを持ち、Dの穴から引き抜き、古い弁を取り外します。



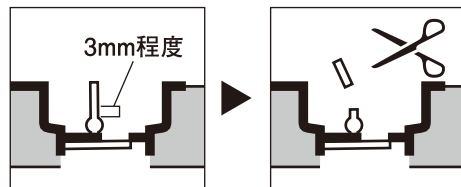
- ④ Aを持ち、しっかりDの穴から引き出します。その際、Cの膨らんだ部分を穴から完全に出してください。完全に出さないと、弁が本製品の内側へ脱落する恐れがあります。



- ③ Dを指で持ち上げ、Dの穴に新しい弁のAを下から通します。

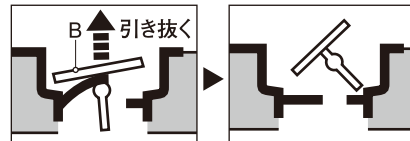


- ⑤ Aを3mm程度残すようにカットします。Cの部分までカットしないよう注意してください。Aをカットすることで、キャップとの干渉を防ぎます。

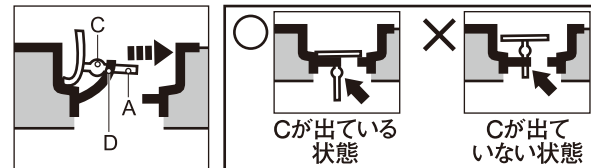


〈脱気用バルブの交換〉

- ① 弁のBをつかんで引っ張り、Dの穴から引き抜き、古い弁を取り外します。



- ② Dの穴にAを通し、Aを持ちながら、Cの膨らんだ部分をDの穴から完全に出してください。A部分をカットする必要はありません。



■ お手入れ方法

間違ったお手入れ方法や保管方法は本製品の寿命を縮めます。使用後や保管時は以下の点を参考にしてください。

- 汗や皮脂などの汚れが付いた際は、ご使用後すぐに中性洗剤で洗ってください。汚れを放置すると、それらが染み込むことで生地が剥離して空気漏れの原因になります。
- 本製品を最大限に膨らませた状態でバルブをしっかりと閉じます。毛の柔らかいブラシと、家庭用の中性洗剤を用意し、ぬるま湯(30℃以下)で洗ってください。洗浄後は十分にすすぎ、完全に乾燥させてください。

■ 保管方法

- 風通しがよく、湿度が高くない場所で、直射日光を避けて保管してください。
- ※ 本製品の経年劣化を早める恐れがあります。以下のような場所に保管しないでください。
 - ・ 直射日光のあたる庭の物置
 - ・ 車内や車のトランクなど高温になる場所
- 長期間保管する場合は、パッドを広げ、バルブを開いたまま湿気のない場所で保管してください。普段から本製品を広げておくことでパッドのフォームが膨らみ、復元力が高まります。
- 本製品を濡れたまま長期間放置しないでください。生地を傷める恐れがあります。
- 保管時は刃物や鋭利な物と接触させないでください。

■ 廃棄方法

- 廃棄方法は住まいの自治体の収集方法に従ってください。

■ アフターサービス

お買い求めいただきました本製品は万全を期して製造しておりますが、万一不備な点がございましたら、お買い求めいただいた販売店、もしくは下記の弊社窓口までご連絡ください。

製造上の欠陥による不具合の場合は無償で交換させていただきます。なお、修理、交換等の要否につきましては、弊社の裁量にて判断させていただきます。

なお、以下のような原因での破損、不良につきましては保証いたしませんのでご了承ください。

- 本製品の誤った使用方法によるもの
- 間違ったお手入れ、保管方法、経年変化による素材劣化
- 乱暴な取り扱いによるもの
- その他、製造上の欠陥以外の原因によるもの

破損時は弊社にて診断をして、修理が可能な場合はご要望により有償にて修理をさせていただきます。

■ 仕様・サイズ

素 材： 表地：(表面) 50 デニール・ポリエステル・トリコット [TPUラミネート]
(側面・底面) 75 デニール・ポリエステル・タフタ [TPUラミネート]
クッション材：ウレタンフォーム

■ その他

本製品の仕様、デザインは予告なく変更されることがあります。また、重量などのスペックには誤差が生じる場合があります。

株式会社 **モンベル** 本 社 〒550-0013 大阪市西区新町 2-2-2 <https://www.montbell.jp/>
商品についてのお問い合わせはカスタマー・サービスまで Tel.06-6531-3544 フリーコール:0088-22-0031

mont-bell

User's Manual

Camp Pad 100 Series

Camp Pad 100 Series

Thank you for purchasing this product. Before using, please carefully read this manual for instructions on the proper care and usage of this product.

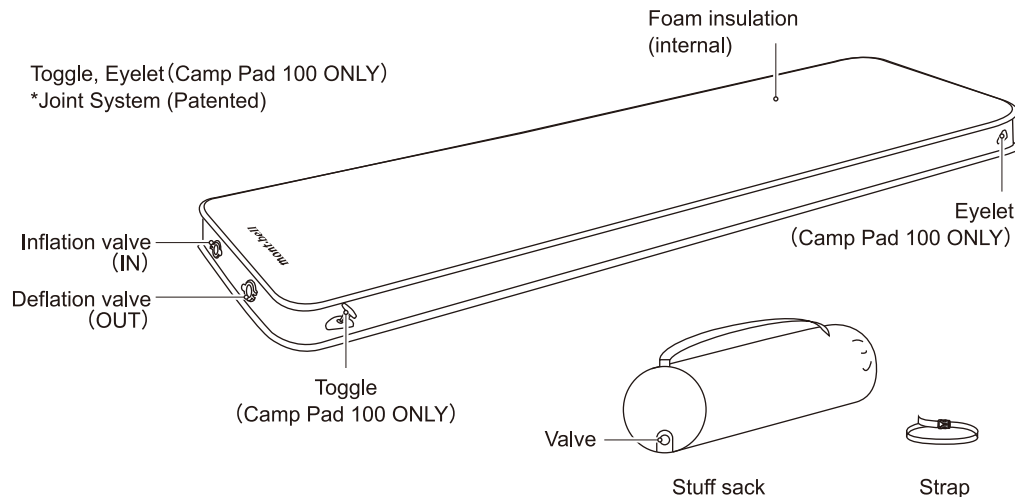
If you have any questions regarding this product, please contact Montbell Customer Service or the store of original purchase. Keep this manual for future reference.

Features

Features inserted foam and 10cm (3.9in) of thickness, promoting excellent comfort on uneven ground while insulating from the cold to deliver great sleep in camp. Use included stuff sack as a pump bag to inflate.

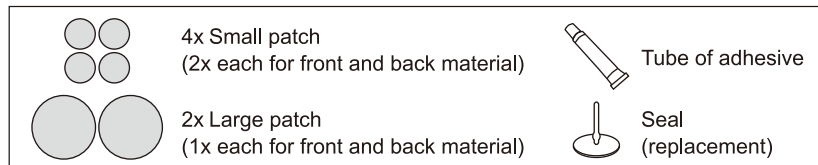
Components

*Illustration shows Camp Pad 100.



※Use included stuff sack as pump bag.

Repair kit



Safety Warnings! Please read carefully.



WARNING!

Under certain conditions, use of this product can result in injury, death, or property damage.

- Do NOT use as a flotation device.



CAUTION!

Under certain conditions, use of this product can result in injury or property damage.

- Please follow recommended care and storage instructions. Improper care and storage can lead to a decrease in performance.
- Do NOT modify or alter this product. Improper modifications and alterations can damage the product and impair function.
- Do NOT allow pad to come into direct contact with the head or skin. Hair oils and the skin's natural oils can soak into the material and cause it to prematurely break down. Use a barrier to prevent direct contact, such as a towel or sleeping bag.
- Do NOT inflate with an air compressor.
- Prior to use, check the pad's condition and stop using immediately if you notice any deterioration from age/use, damage or irregularities.
- It is important to use caution when around sharp objects (thorns, branches, stones, cacti, etc) , that may puncture the material.
- When not sleeping in a tent, use a ground cloth to protect the pad.
- Do NOT apply sudden pressure to pad when fully inflated. May cause the pad to rupture.
- Keep this product away from flame sources, such as campfires, to prevent damage and warping due to heat. Do NOT set hot objects (such as a hot stove or lantern) on top of the pad.
- Do NOT smoke over the pad. Hot ash can damage the fabric.
- Do NOT leave inflated pad inside a tent or car during hot weather. May cause the pad to rupture.
- Do NOT expose to chlorine based chemicals and sun screen. Can cause the material to break down prematurely.
- Avoid long-term exposure to sunlight. Ultraviolet light can damage the material.
- Store out of the reach of pets. Pets can bite or claw the material, causing holes.
- Avoid wearing metal objects when using, such as a pair of pants with buckles. May damage the pad while sleeping.
- Dry this product thoroughly before storing. If stored while wet, mold may form and the fabric may deteriorate prematurely.

Prior to use, inspect this product for:

Stop using immediately if you notice any irregularities.

☐Punctures

☐Damage to the valve

☐Fabric peeling

☐Air leakage

Directions

*Illustration shows Camp Pad 100.

Before Using the pad

Although this pad's foam has a small degree of self-inflating abilities, it is shipped in a completely compressed state. Before using for the first time, open the valve and wait for the pad to self-inflate before blowing into the pad or using the Pump Bag to inflate to capacity. Leave the inflated pad to rest over night to allow the foam to recover its cushioning and self-inflating abilities.

After storing the pad for an extended period of time, follow the same procedure above for restoring the foam.

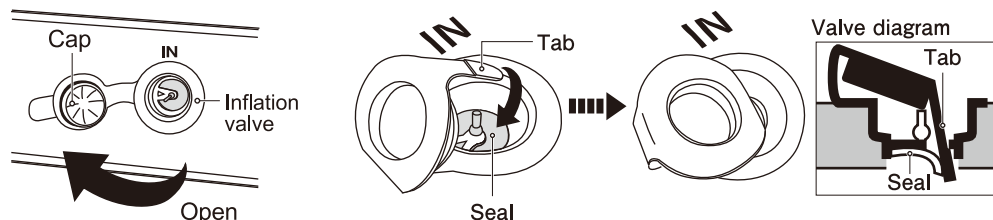
○ Inflating the pad

Inflate in two ways.

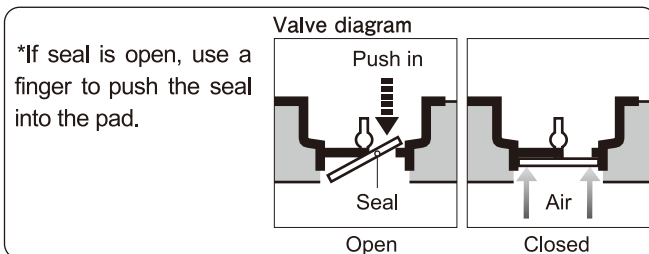
- Allow pad to semi-automatically inflates partway, then fully inflate with pump bag (stuff sack). (Refer to **1** and **2**.)
- Use pump bag (stuff sack) to inflate. (Refer to **2**.)

1 Self-inflating

- 1** Remove from stuff sack (pump bag).
- 2** Open the inflation valve cap.
- 3** Insert the cap's tab into the valve to create a gap in the seal. By opening the valve, air is able to flow into the pad.
*Will NOT fully self-inflate.

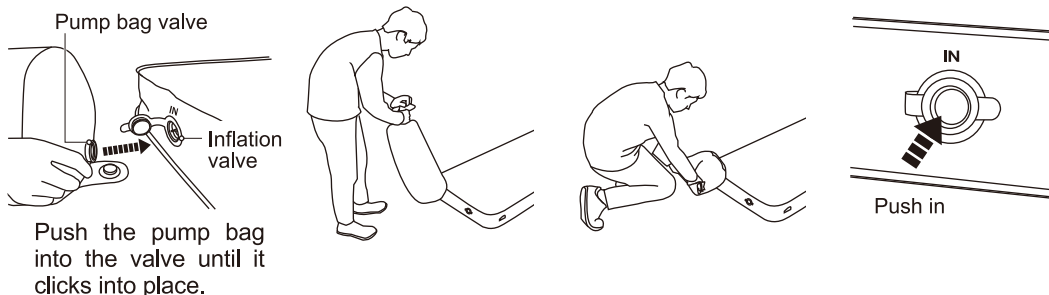


- 4** After the pad has time to self-inflate, remove the cap's tab from the valve. Make sure the seal is closed. If the pad needs more air, inflate with pump bag. (Refer to **2-2**.)
- 5** Push in cap firmly to secure.



2 Inflating with the pump bag

- 1** Remove from stuff sack (pump bag).
- 2** Open the cap on the inflation valve and the pump bag (stuff sack), then connect.
- 3** Open the bag and roll the opening down so that it captures air inside the bag.
- 4** Place your weight on the pump bag so air moves into the pad. Repeat steps 3 and 4 until inflated to personal preference.
- 5** Push in cap firmly to secure.



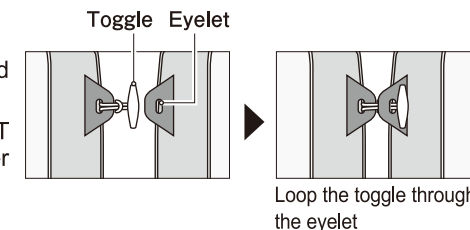
⚠ Caution!

- In cold weather, the pad can take longer to self-inflate. Spread out the pad and lay on it to warm the foam, which helps the foam expand.
- Do NOT apply sudden pressure to pad when fully inflated. May damage the pad's foam.

○ Joint System (Patented)

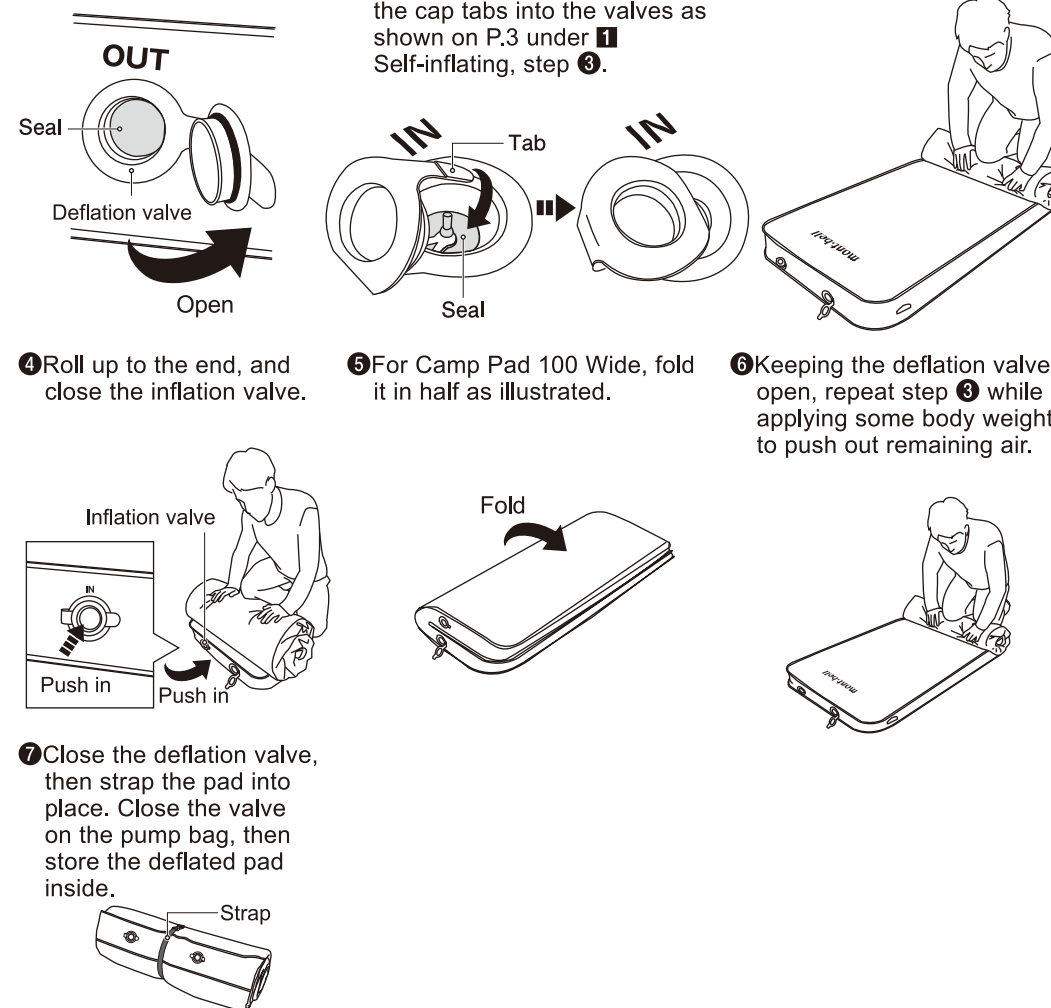
Use the toggles and eyelets to connect Camp Pad together.

*ONLY compatible with Camp Pad 100 models. NOT compatible with Camp Pad 100 Wide or other models of air pads.



○ Deflating the pad

- 1** Open the deflation valve cap.
- 2** In order to quickly deflate, open both the inflation and deflation valves, then insert the cap tabs into the valves as shown on P.3 under **1** Self-inflating, step **3**.
- 3** Roll up the pad from the side opposite the valves to push out air.
- 4** Roll up to the end, and close the inflation valve.
- 5** For Camp Pad 100 Wide, fold it in half as illustrated.
- 6** Keeping the deflation valve open, repeat step **3** while applying some body weight to push out remaining air.



○ Repairing

Punctures (pin hole sized)

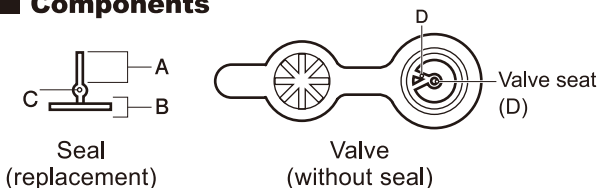
If the pad is punctured (pin hole sized), use the included repair kit to patch the hole. For larger holes, contact the store of original purchase or Montbell Customer Service.

- 1 First locate the puncture. If you cannot find the hole, inflate the pad and then coat any suspicious areas with soapy water. Pressure from the inside should cause the soapy water to bubble, showing you the location of the puncture.
- 2 If using the procedure in step 1, make sure the pad is thoroughly rinsed, completely dry and deflated before continuing.
- 3 Apply the adhesive to the puncture and the area around it, and allow 5 minutes to dry. Make sure the area covered by the adhesive is larger than the patch. (It is possible to cut the included patches to a desired shape. Make sure to avoid rectangular shapes; the corners have a tendency to peel)
- 4 Peel the backing off of the patch and firmly press the patch directly onto the puncture. Hold patch in place for a few minutes.
- 5 Let dry for at least 8 hours.
- 6 Check to see if your repair was successful, or if there are more punctures.

Use the method below to replace the seal if it becomes damaged or detached.

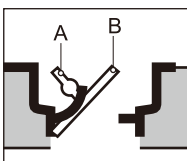
Parts are small. Use tweezers if necessary.

■ Components

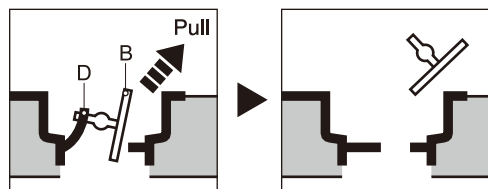


〈Replacing the seal of inflation valve〉

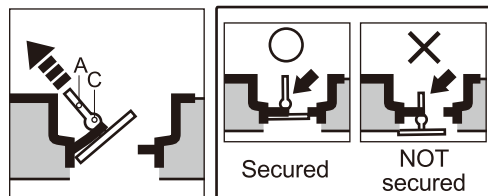
- 1 Pull the seal stem (A) out of the valve and hold the seal (B).



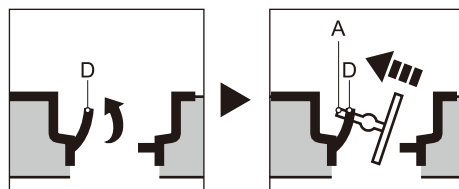
- 2 Pull the seal (B) out of the seat (D).



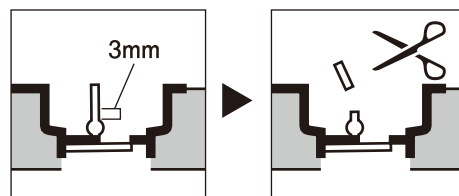
- 4 Firmly hold the seal stem (A) and pull through the hole in the seat. Make sure the bulb on the stem (C) completely passes through the hole. This bulb prevents the seal from becoming loose and falling into the pad.



- 3 Hold up the seat (D) and pass the new seal stem (A) through the hole in the seat.

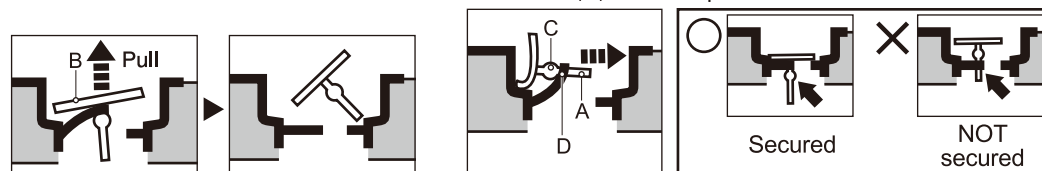


- 5 Cut the seal stem (A) while leaving about 3mm remaining. This prevents interference with the cap. Do NOT cut down to the bulb (C).



〈Replacing the seal of deflation valve〉

- 1 Pull the seal (B) out of the seat (D).
- 2 Firmly hold the seal stem (A) and pull through the hole (D) in the seat. Make sure the bulb on the stem (C) completely passes through the hole. Cutting down the seal stem (A) is not required.



■ Care

Improper care and storage can shorten the lifespan of the product. Follow the recommendations below to extend the lifespan of the product.

- If perspiration or the skin's natural oils come into contact with the product, wash with a mild soap. Contact can cause the material to break down prematurely.
- Inflate the pad to its maximum capacity and close the valve cap. Wash using a soft brush, mild soap and lukewarm water (below 30°C). Rinse thoroughly and allow to air dry before storing.

■ Storage

- Store in a well-ventilated, cool, dry place out of direct sunlight. The following storage methods can cause this product to deteriorate quickly.
 - Any area that receives exposure from direct sunlight.
 - A car trunk or other areas subject to high temperatures.
- For long term storage, store in a dry place with the pad spread out with the valve open. Storing the pad spread out aids the foam's cushioning and self-inflating abilities.
- Dry thoroughly before storing. Molding and premature fabric deterioration can occur if stored while wet.
- Do NOT allow sharp or pointed objects to come into contact with the pad.

■ Disposal

- Please follow local regulations regarding waste disposal.

■ Warranty

Montbell's warranty covers all defects in materials and workmanship to the original owner, for the lifetime of the product. If a product ever fails due to a manufacturing defect, Montbell will repair or replace the product at Montbell's discretion. This warranty does not cover damage(s) caused by accident, improper care, negligence, misuse, alterations or normal wear and tear. Damage(s) not covered under warranty will be repaired at a reasonable rate. If you would like to make a warranty inquiry, please contact Montbell Customer Service or the store of original purchase.

■ Specifications

Materials : (Face) 50-denier polyester tricot TPU laminate
(Side, Bottom) 75-denier polyester taffeta TPU laminate
(Cushion) urethane foam

All product specifications and design are subject to change without prior notice. Actual product specifications may vary.

montbell Co.,Ltd.

2-2-2 Shinmachi, Nishi-ku, Osaka 550-0013 JAPAN
<https://www.montbell.com/>